

2022年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE
 コード番号 3047 URL <http://www.truck-one.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 0833-44-1100

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	1,638	26.3	33	293.5	35	178.4	18	224.5
2021年12月期第1四半期	1,296	16.0	8	36.9	12	9.0	5	42.6

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 19百万円 (133.2%) 2021年12月期第1四半期 8百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	7.87	
2021年12月期第1四半期	2.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	4,832	768	15.9	320.15
2021年12月期	4,712	754	16.0	314.39

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 768百万円 2021年12月期 754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		2.50		2.50	5.00
2022年12月期					
2022年12月期(予想)		2.50		2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	2.8	30	27.5	35	24.1	25	11.8	10.42
通期	6,000	0.0	60	30.0	70	29.1	50	27.9	20.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	2,552,000 株	2021年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	2022年12月期1Q	153,100 株	2021年12月期	153,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	2,398,900 株	2021年12月期1Q	2,398,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の3回目のワクチン接種等の対策が進んでいるものの、新たな変異株も発生しており、収束時期を見通すことが困難な状況が続いております。更に、ロシアによるウクライナ侵攻により、エネルギー価格の高止まりが続くと予測される等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、半導体不足による新車納期の遅れが続いていることから、高年式を中心とした中古車の需要が高まり、増収増益となりました。運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.G及び丸進運油株式会社が行っており、当第1四半期において売上高はほぼ横這いであるものの、原油価格の高騰の影響を受け、利益は前年を下回ることとなりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績として、売上高1,638,430千円（前年同期比26.3%増）、営業利益33,197千円（前年同期比293.5%増）、経常利益35,027千円（前年同期比178.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益18,878千円（前年同期比224.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

① 商用車関連事業

半導体不足等の影響を受け、中古車の需要の高まりが続いていることにより、商用車関連事業の売上高は1,424,384千円（前年同期比30.2%増）、セグメント利益は19,990千円（前年同四半期はセグメント損失7,218千円）となりました。

② 運送関連事業

原油価格高騰の影響を大きく受け、運送関連事業の売上高は214,045千円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は13,019千円（前年同期比14.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は4,832,528千円となり、前連結会計年度末に比べ119,716千円の増加となりました。このうち流動資産は99,160千円増加して2,981,846千円となりました。主な要因は商品及び製品が227,004千円、受取手形及び売掛金が74,270千円増加し、現金及び預金が213,197千円減少したことによるものです。また固定資産は20,556千円増加して1,850,681千円となりました。主な要因は賃貸用資産が9,190千円、繰延税金資産が3,424千円増加したことによるものです。

(負債の状況)

負債合計は4,064,511千円となり、前連結会計年度末に比べ105,894千円の増加となりました。このうち流動負債は149,782千円増加して3,090,718千円となりました。主な要因は短期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が51,357千円、未払金が42,703千円減少したことによるものです。また固定負債は43,887千円減少して973,793千円となりました。主な要因はリース債務が6,764千円増加し、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産の状況)

純資産合計は768,017千円となり、前連結会計年度末に比べ13,821千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、2022年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,631	357,433
受取手形及び売掛金	280,028	354,299
商品及び製品	1,963,872	2,190,876
原材料及び貯蔵品	9,170	13,634
その他	60,431	66,667
貸倒引当金	△1,448	△1,065
流動資産合計	2,882,686	2,981,846
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	267,232	276,423
土地	961,744	961,744
その他(純額)	440,925	448,873
有形固定資産合計	1,669,902	1,687,041
無形固定資産		
のれん	47,927	46,558
その他	3,758	3,137
無形固定資産合計	51,686	49,695
投資その他の資産		
投資有価証券	28,542	29,969
敷金及び保証金	23,196	23,196
繰延税金資産	20,462	23,886
その他	36,336	36,892
投資その他の資産合計	108,537	113,944
固定資産合計	1,830,125	1,850,681
資産合計	4,712,811	4,832,528
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	956,411	905,053
短期借入金	1,600,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,688	2,688
リース債務	55,921	54,172
未払金	196,506	153,802
未払法人税等	21,291	20,092
賞与引当金	1,043	13,067
その他	107,073	41,840
流動負債合計	2,940,936	3,090,718
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	603,952	553,056
リース債務	93,759	100,523
繰延税金負債	28,905	28,869
退職給付に係る負債	40,763	41,044
その他	300	300
固定負債合計	1,017,680	973,793
負債合計	3,958,616	4,064,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	627,808	640,690
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	756,008	768,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,813	△872
その他の包括利益累計額合計	△1,813	△872
純資産合計	754,195	768,017
負債純資産合計	4,712,811	4,832,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,296,972	1,638,430
売上原価	1,130,188	1,443,204
売上総利益	166,783	195,226
販売費及び一般管理費	158,347	162,029
営業利益	8,436	33,197
営業外収益		
受取利息	218	20
受取配当金	-	0
受取保険金	2,240	36
保険解約返戻金	220	144
補助金収入	2,917	1,585
その他	1,901	2,603
営業外収益合計	7,498	4,391
営業外費用		
支払利息	3,353	2,560
その他	-	0
営業外費用合計	3,353	2,561
経常利益	12,581	35,027
税金等調整前四半期純利益	12,581	35,027
法人税、住民税及び事業税	10,441	20,095
法人税等調整額	△3,677	△3,947
法人税等合計	6,763	16,148
四半期純利益	5,817	18,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,817	18,878

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	5,817	18,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,679	940
その他の包括利益合計	2,679	940
四半期包括利益	8,497	19,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,497	19,819
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いによっておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、時価算定会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の決算短信の（追加情報）「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,094,160	202,811	1,296,972	-	1,296,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,084	10,583	34,667	△34,667	-
計	1,118,245	213,395	1,331,640	△34,667	1,296,972
セグメント利益又は損失(△)	△7,218	15,145	7,926	510	8,436

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額510千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
日本	1,308,213	214,045	1,522,259	-	1,522,259
東南アジア	116,171	-	116,171	-	116,171
顧客との契約から生じる収益	1,424,384	214,045	1,638,430	-	1,638,430
外部顧客への売上高	1,424,384	214,045	1,638,430	-	1,638,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,408	15,867	60,276	△60,276	-
計	1,468,793	229,913	1,698,706	△60,276	1,638,430
セグメント利益	19,990	13,019	33,009	187	33,197

(注) 1 セグメント利益の調整額187千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。